# ＲＥＳＡＳの地域経済データ

当地域において真に稼げる産業や事業者に対し、限られたマンパワーや政策資源を集中投下し、効率的な経済活性化を目指すため、経営指導員等が「ＲＥＳＡＳ」（地域経済分析システム）を活用し、以下のマップから、地域の経済動向の把握を行いました。

●各マップから把握できる事項

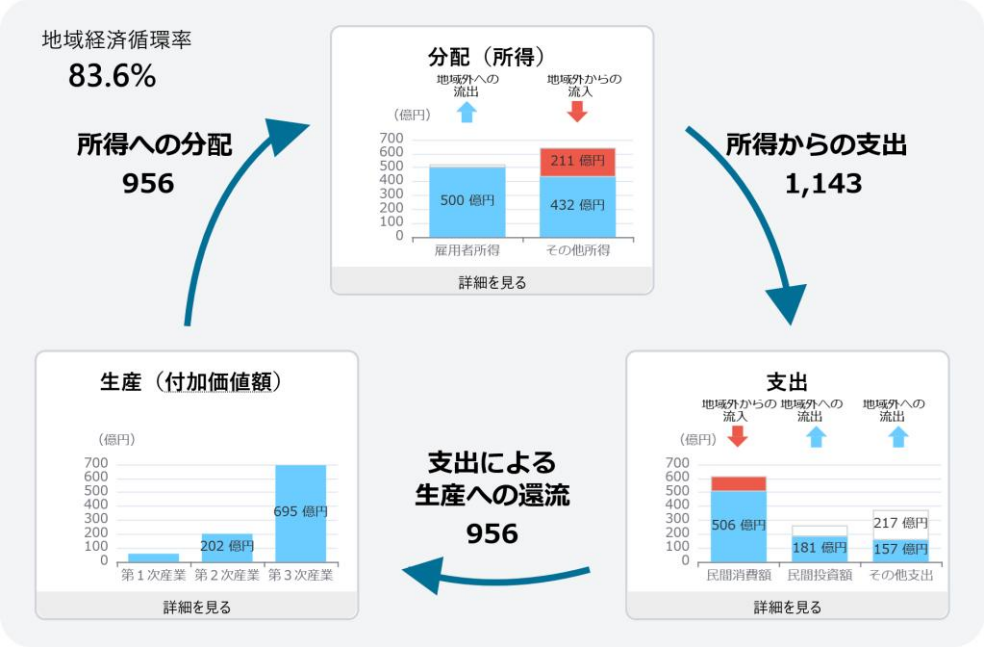
| マップ | 把握できる事項 |
|---|---|
| 地域経済循環マップ・地域経済循環 | 二戸市の地域経済は何で稼いでいるか等 |
| 人口マップ・通勤通学人口分析 | 二戸市における人の動き等 |
| 産業構造マップ・作業構造分析 | 二戸市の産業の現状等 |

## １．地域経済循環マップ・生産分析

地域経済循環率（生産／分配）については、 2020 年データでは 83.6%となっています。また、生産（付加価値額）では、第３次産業が 66.9%を占めています。分配（所得）では、211 億円が他地域からの流入となっています。

支出をみると、住民の消費等を示す「民間消費額」では、111 億円が市内に流入しています。また、企業の設備投資等を示す「民間投資額」では、82 億円が他地域へ流出、「その他支出」では、217 億円が他地域へ流出しています。

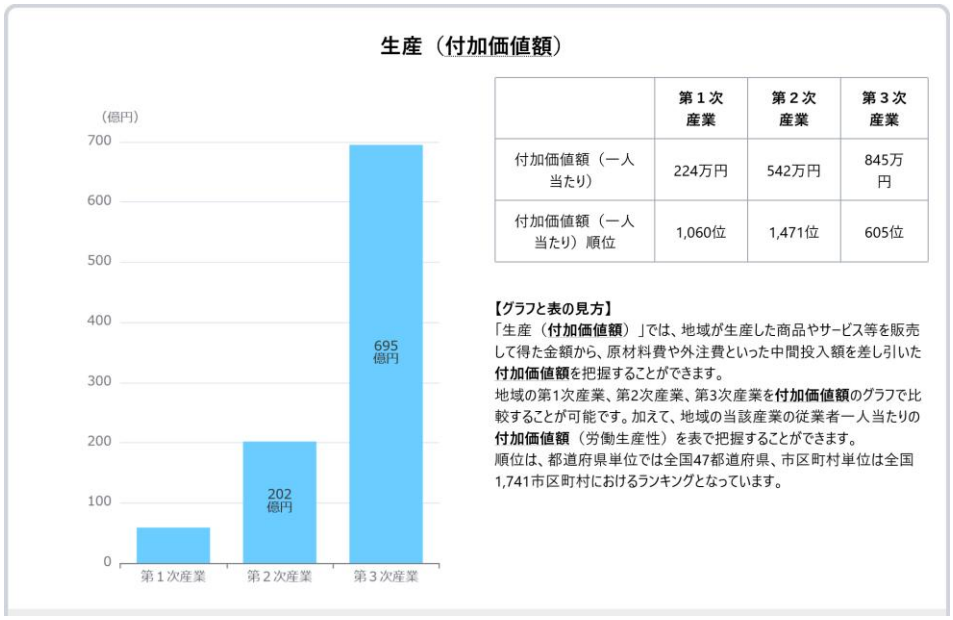
（１）全体図




（２）生産（付加価値額）について

「生産（付加価値額）」では、地域が生産した商品やサービス等を販売して得た金額から、原材料費や外注費といった中間投入額を差し引いた付加価値額を把握することができます。地域の第１次産業、第２次産業、第３次産業を付加価値額のグラフで比較することが可能です。

加えて、地域の当該産業の従業者一人当たりの付加価値額（労働生産性）を表で把握することができます。順位は、都道府県単位では全国 47 都道府県、市区町村単位は全国 1,741 市区町村におけるランキングとなっています。

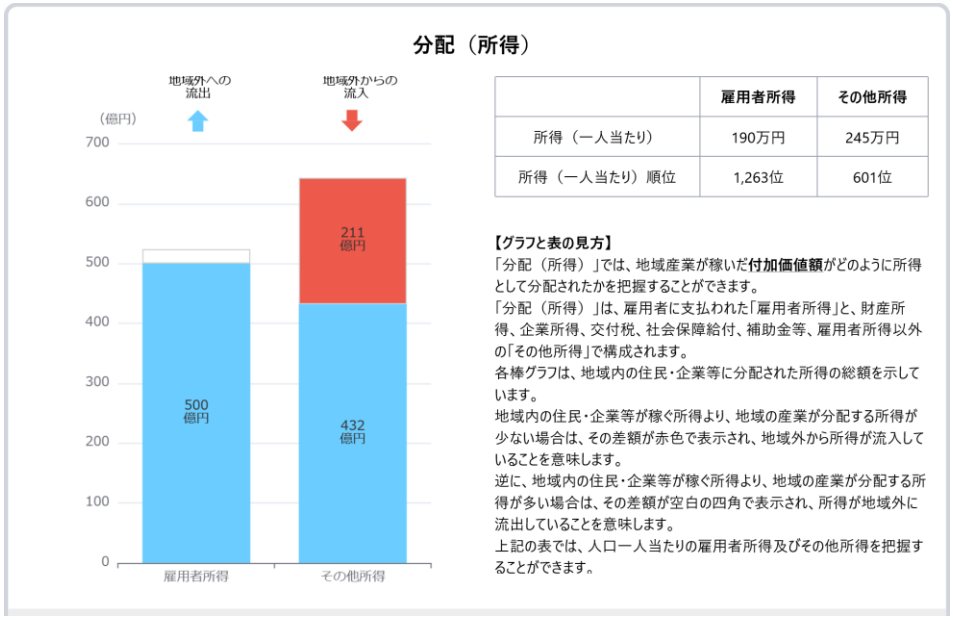



（３）分配について

「分配（所得）」では、地域産業が稼いだ付加価値額がどのように所得として分配されたかを把握することができます。「分配（所得）」は、雇用者に支払われた「雇用者所得」と、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の「その他所得」で構成されます。各棒グラフは、地域内の住民・企業等に分配された所得の総額を示しています。

地域内の住民・企業等が稼ぐ所得より、地域の産業が分配する所得が少ない場合は、その差額が赤色で表示され、地域外から所得が流入していることを意味します。逆に、地域内の住民・企業等が稼ぐ所得より、地域の産業が分配する所得が多い場合は、その差額が空白の四角で表示され、所得が地域外に流出していることを意味します。

下記の表は、従業者一人当たり雇用者所得及び人口一人当たりその他所得を表で把握することができます。表に記載されている順位は、都道府県単位では全国 47 都道府県、市区町村単位は全国 1,741 市区町村におけるランキングとなっています。

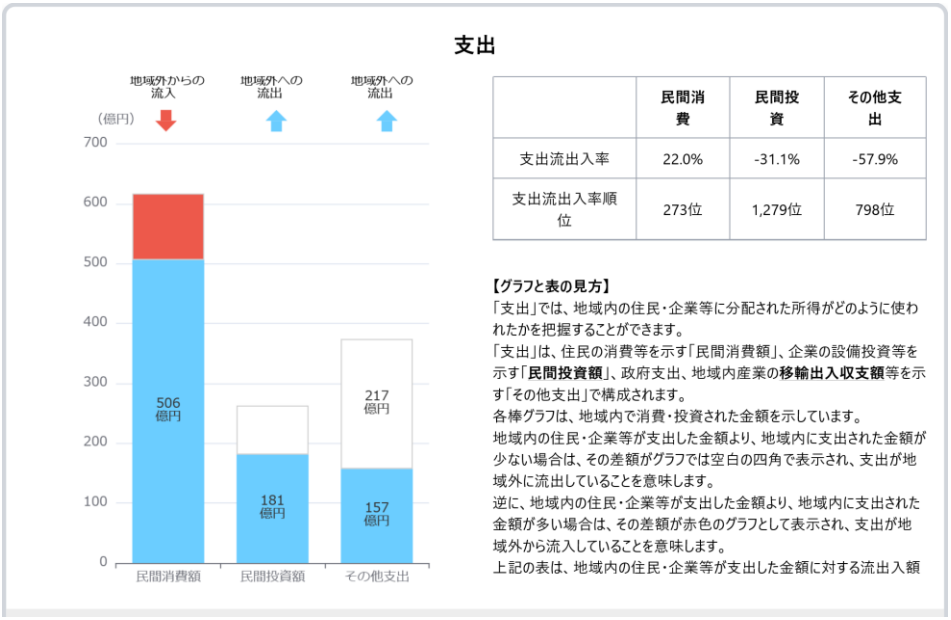


（4）支出について

「支出」では、地域内の住民・企業等に分配された所得がどのように使われたかを把握することができます。「支出」は、住民の消費等を示す「民間消費額」、企業の設備投資等を示す「民間投資額」、政府支出、地域内産業の移輸出入収支額等を示す「その他支出」で構成されます。各棒グラフは、地域内で消費・投資された金額を示しています。

地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が少ない場合は、その差額がグラフでは空白の四角で表示され、支出が地域外に流出していることを意味します。逆に、地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が多い場合は、その差額が赤色のグラフとして表示され、支出が地域外から流入していることを意味します。

下記の表は、地域内の住民・企業等が支出した金額に対する流出入額の比率を示す「支出流出入率」を把握することができます。表に記載されている順位は、都道府県単位では全国 47 都道府県、市区町村単位は全国 1,741 市区町村におけるランキングとなっています。




| | 民間消費 | 民間投資 | その他支出 |
|---|---|---|---|
| 支出流出入率 | 22.0% | -31.1% | -57.9% |
| 支出流出入率順位 | 273位 | 1,279位 | 798位 |

**【グラフと表の見方】**
「支出」では、地域内の住民・企業等に分配された所得がどのように使われたかを把握することができます。
「支出」は、住民の消費等を示す「民間消費額」、企業の設備投資等を示す「**民間投資額**」、政府支出、地域内産業の**移輸出入収支額**等を示す「その他支出」で構成されます。
各棒グラフは、地域内で消費・投資された金額を示しています。
地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が少ない場合は、その差額がグラフでは空白の四角で表示され、支出が地域外に流出していることを意味します。
逆に、地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が多い場合は、その差額が赤色のグラフとして表示され、支出が地域外から流入していることを意味します。
上記の表は、地域内の住民・企業等が支出した金額に対する流出入額

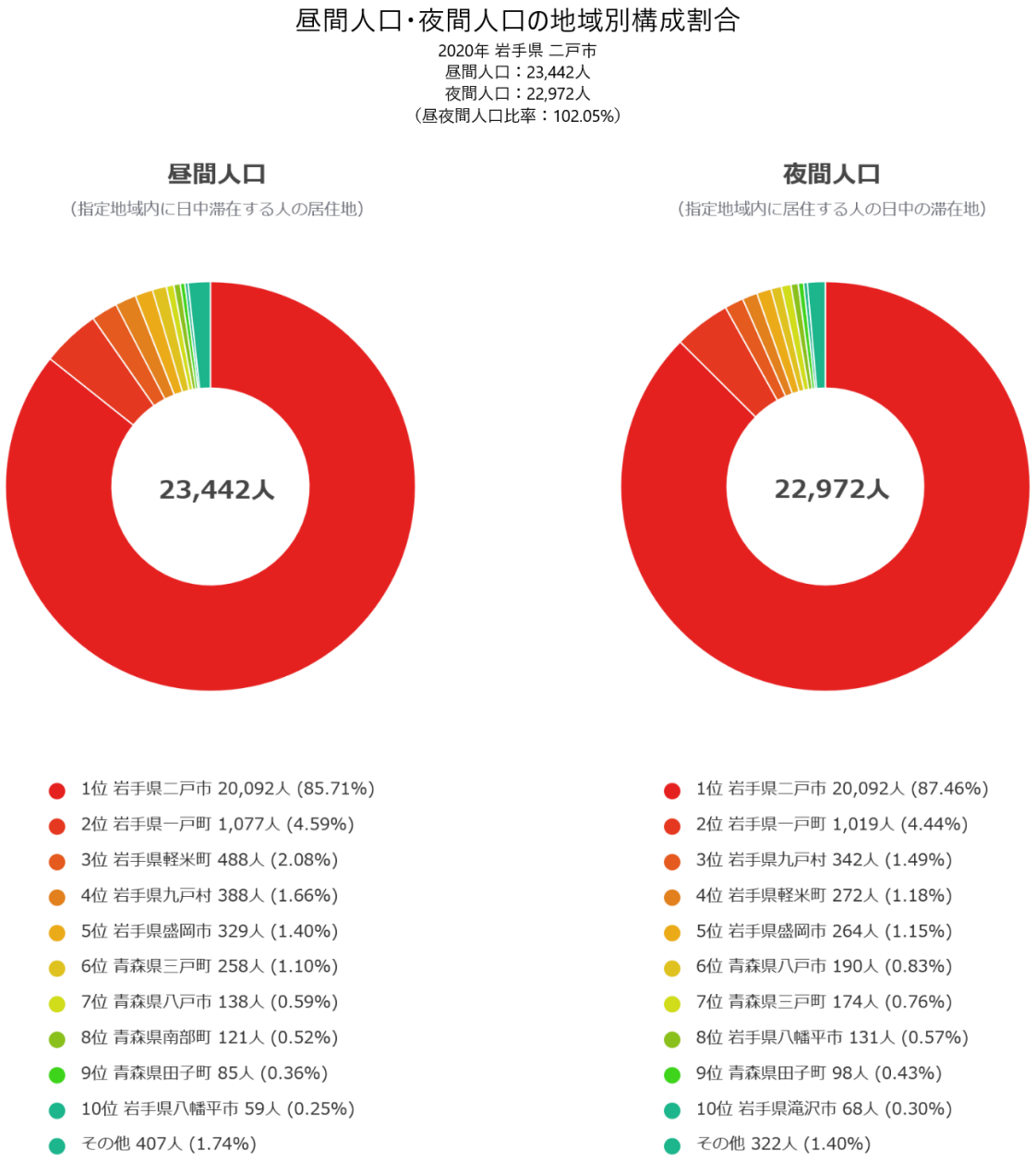
## ２．人口マップ・通勤通学人口分析

（１）昼間人口・夜間人口の地域別構成割合

●本市の通勤通学人口を見ると、昼間人口は 23,442 人、夜間人口は 22,972 人となっています。

●地域別構成割合を見ると、域内の昼間人口は 95.69%、夜間人口は 95.59%を占めています。

●域外からの昼間人口は 4.31%、夜間人口は 4.41%で青森県・その他からの通勤通学となっています。

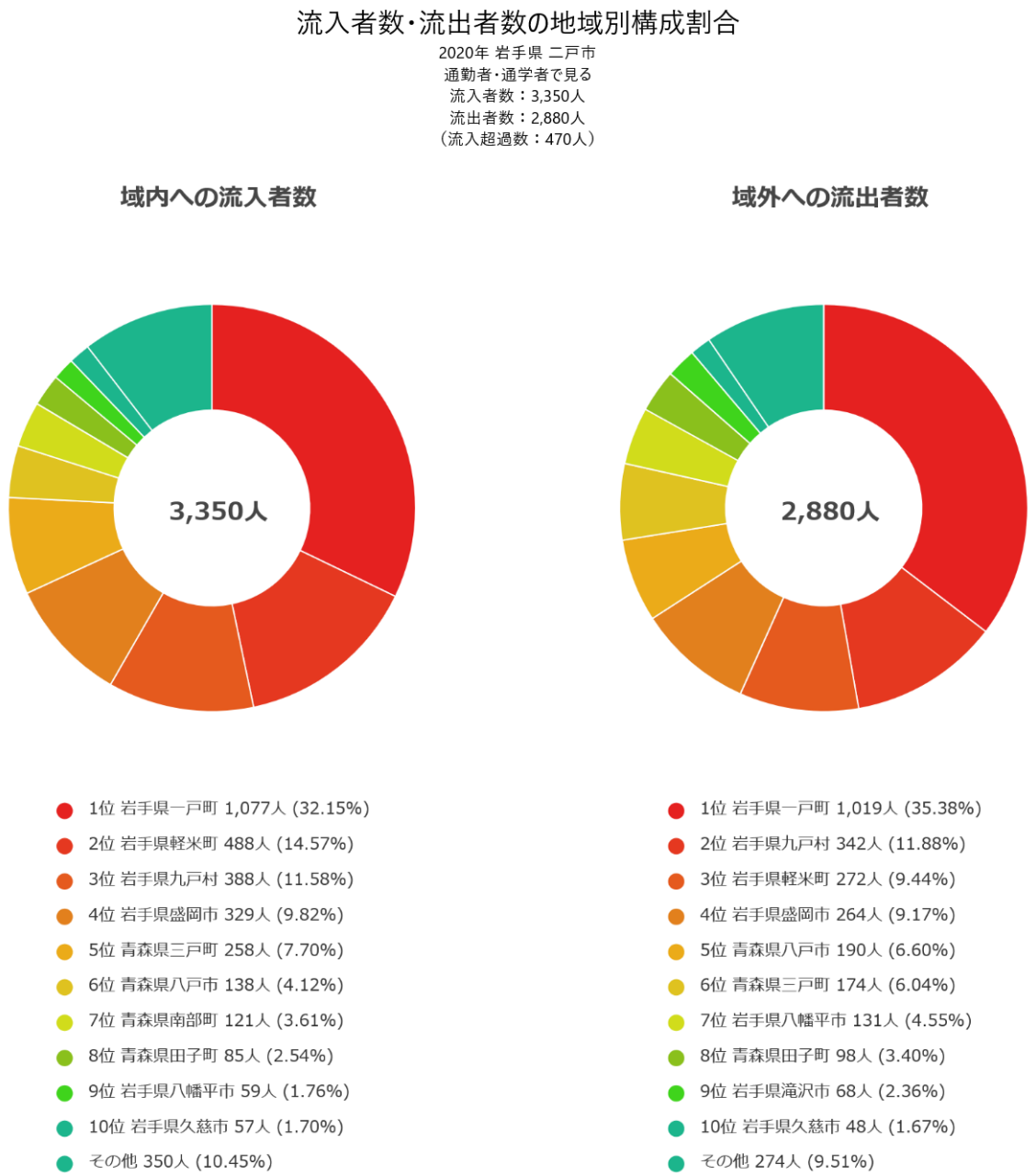


（2）流入者数・流出者数の地域別構成割合

●本市の流入者数・流出者数を見ると、域内への流入者数は 3,350 人、域外への流出者数は 2,880 人となっています。

●地域別構成割合を見ると、岩手県在住者の域内への流入者数は 71.58%、域外への流出者数は 74.45%となっています。

●岩手県内の「域内への流入者数」は 28.42%、岩手県外への「域外への流出者数」は 25.55%となっています。



## ３．産業構造マップ

二戸市市の産業構造をみると、

●企業数では「卸売業、小売業 208 社（23.6%）」と最も高く、次いで「建設業 109 社（12.4%）」、「生活関連サービス業、娯楽業 101 社（11.5%）」となっています。

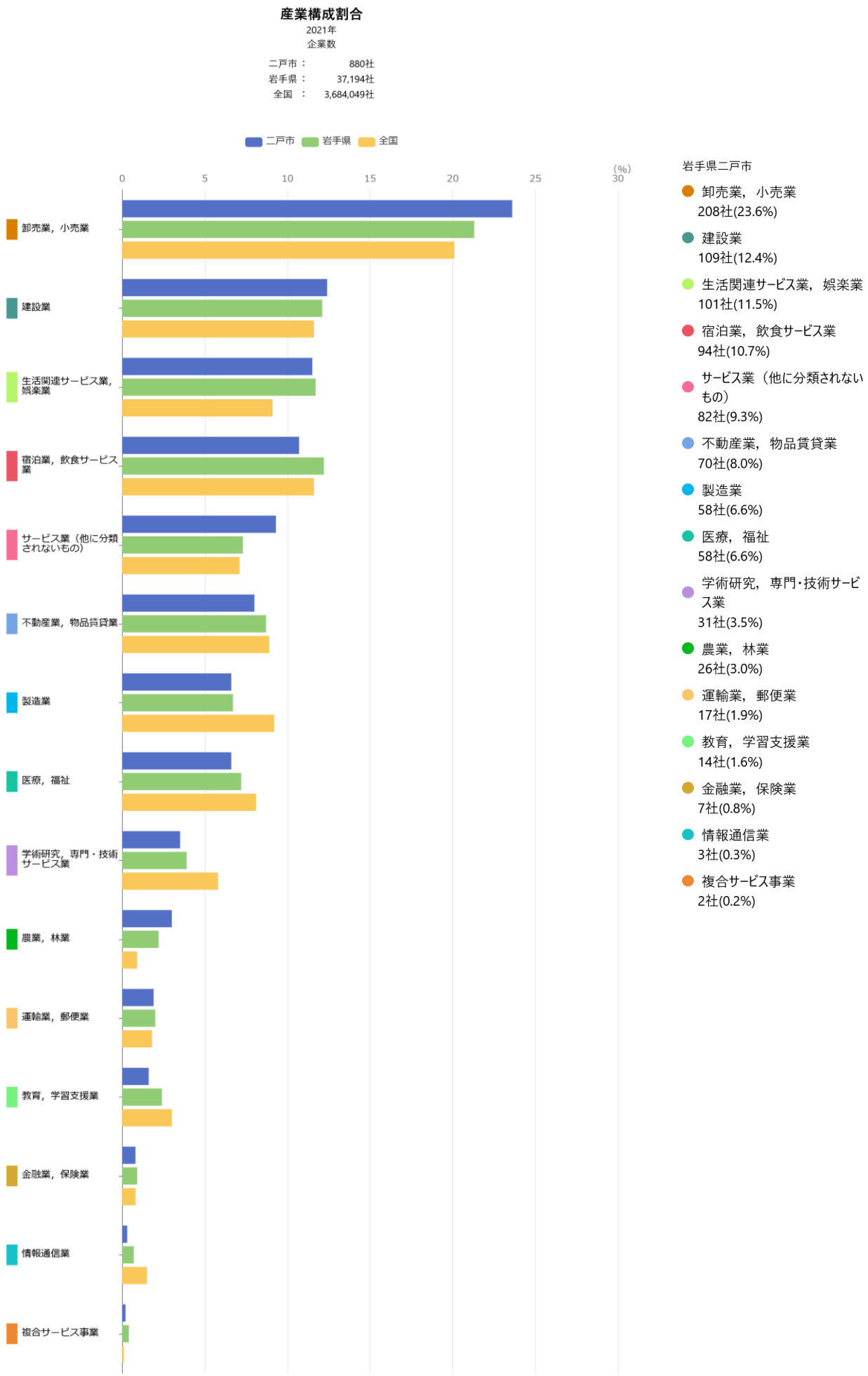
●従業者数でみると「製造業 2,664 人（26.2%）」と最も高くなり、次いで「卸売業、小売業 1,599 人（15.7%）」、「農業、林業 1,389 人（13.7%）」となっています。

●売上高では、「62,607 百万円（28.0%）」と最も高く、次いで「農業、林業 61,303 百万円（27.5%）」、「製造業 60,279 百万円（27.0%）」となっています。

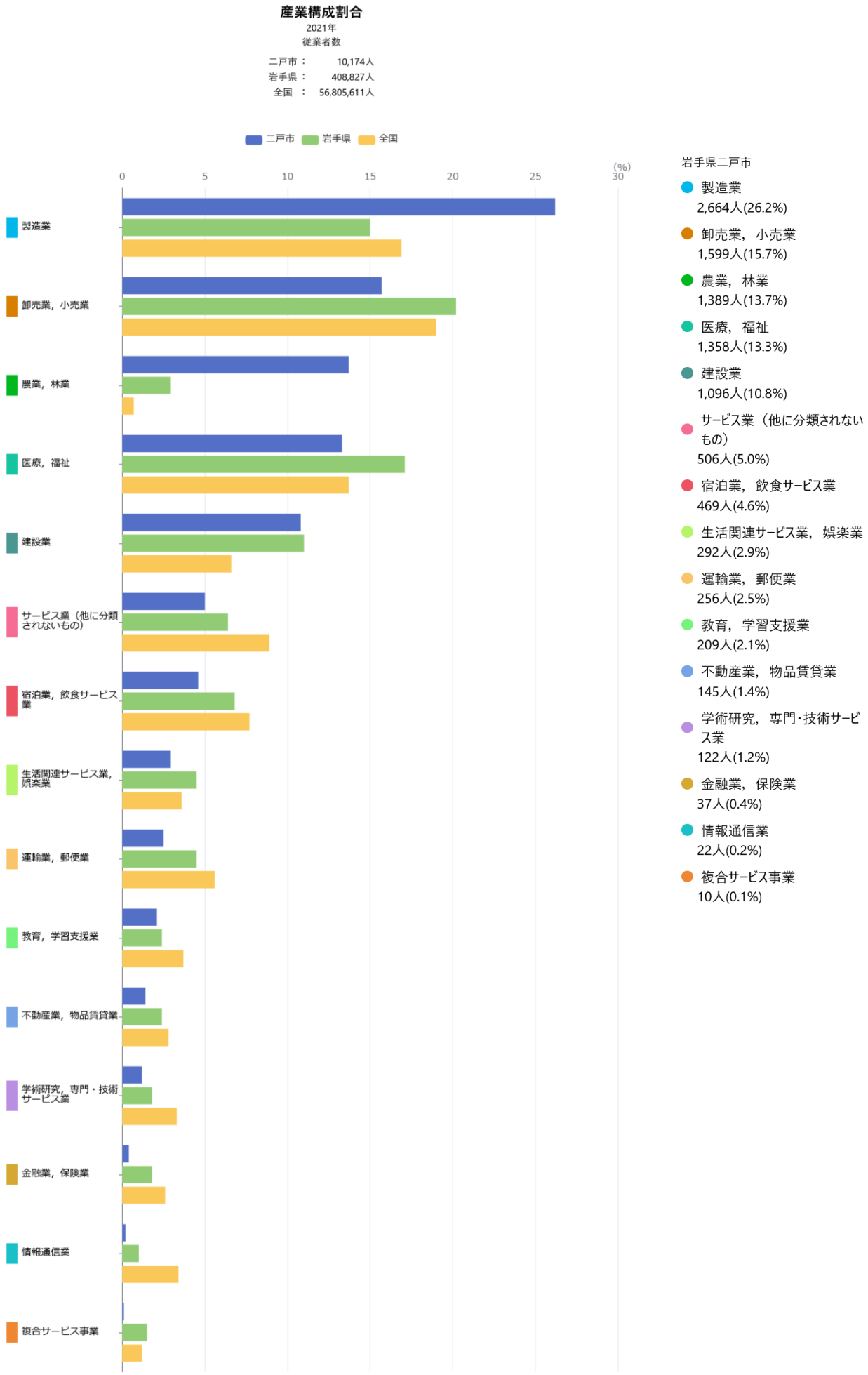
●付加価値額では、「製造業 13,795 百万円・28.9%」と最も高く、次いで「農業、林業 12,531 百万円・26.2%」、「卸売業、小売業 6,881 百万円・14.4%」となっています。

●企業数、従業者数、売上高、付加価値額で高い割合となった「卸売業、小売業」の売上高の推移を見ると、「2012 年・30,306 百万円」、「2016 年・77,842 百万円（156.85%増加）」「2021 年・62,607 百万円（19.57%減少）」となっています。

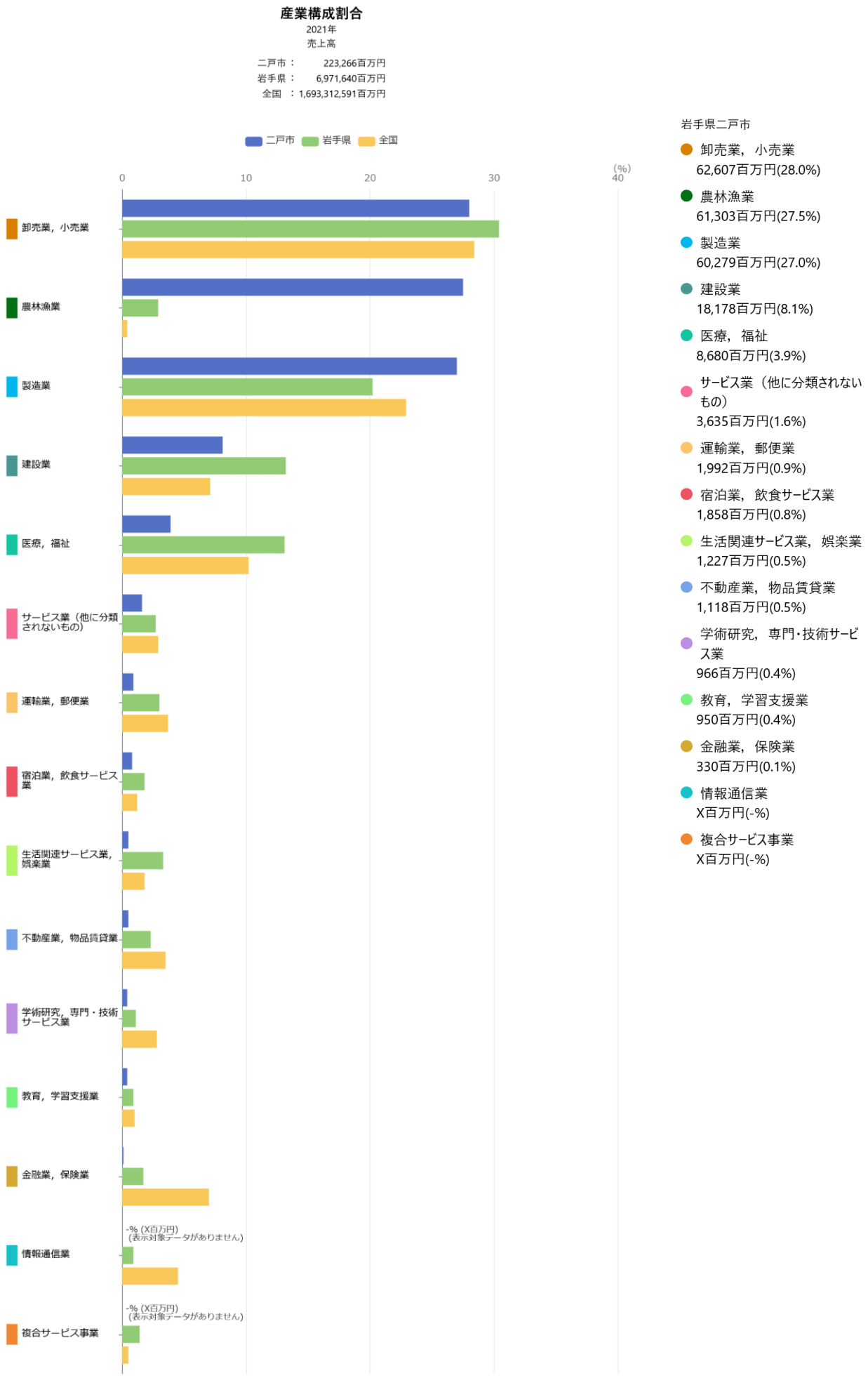
※産業構造マップについては「2021 年・経済センサス活動調査」データによる。




【出典】総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査（産業横断調査）」

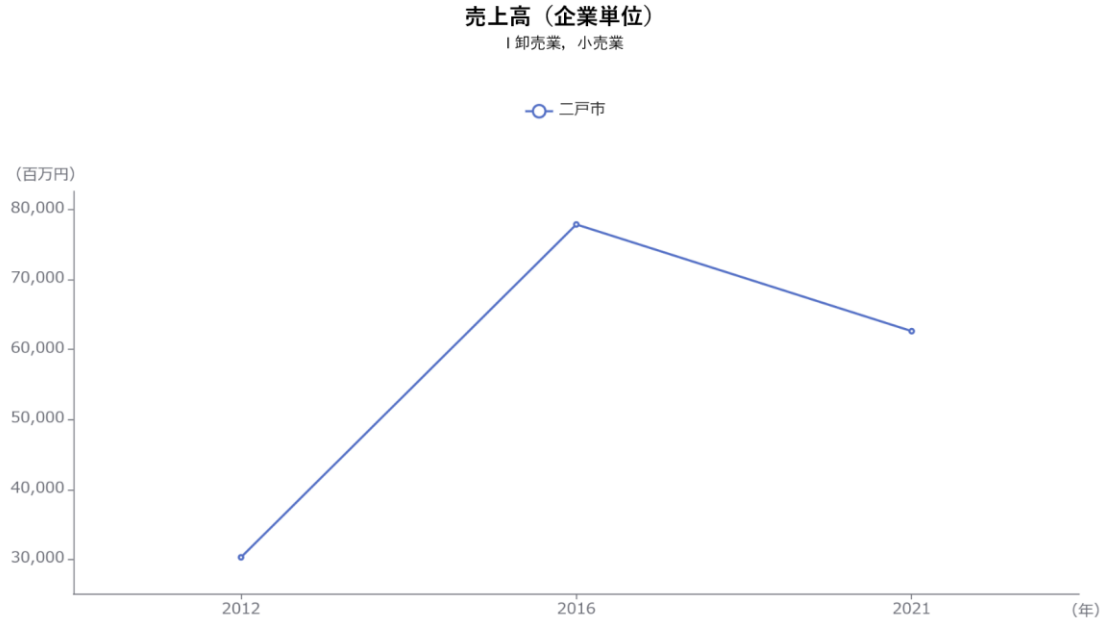



【出典】総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査（産業横断調査）」




【出典】総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査（産業横断調査）」

【卸売業・小売業の売上高の推移】




【出典】総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査（産業横断調査）」